

令和7年度 静岡県外国人介護人材マッチング支援事業 運営説明 資料

2025年7月16日
株式会社東海道シグマ

特定技能制度について

特定技能介護とは

深刻化する人材不足の中で生産性向上や国内人材確保のための取り組みを行ってもなお人材を確保することが困難な状況にある産業上の分野において一定の専門性・技能を有する外国人材を受け入れる制度です。現在、介護、建設、農業など16分野があり、2027年以降は3分野が追加させる予定ですが、更に分野拡大が予想されています。

特定技能介護の条件

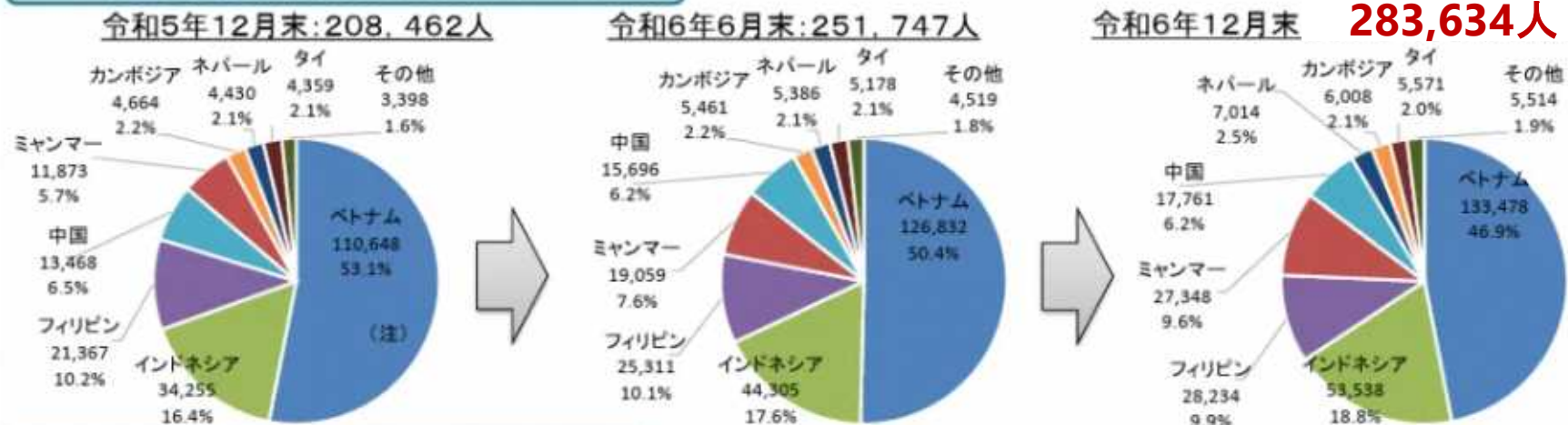
- ・対象者 : ①介護技能評価試験、介護日本語評価試験、国際交流基金日本語基礎テスト(または日本語能力試験N4以上)に合格した者
②技能実習介護2号を良好に修了した者(2年10ヶ月以上修了かつ技能検定3級合格)
③介護福祉士養成施設を修了した者
④EPA介護福祉士候補者として就労・研修に適切に4年間従事した者(直近の介護福祉士国家試験を合格基準点の5割以上の得点)
- ・雇用形態 : 「直接雇用」に限られています。
- ・労働条件 : 報酬額や労働時間等は日本人と同等以上となります。
- ・受入人数 : 事業所単位で、日本人等の常勤介護職員(雇用保険被保険者)の総数を上限とします。
- ・雇用期間 : 最大5年間 但し、介護福祉士の国家資格を取得すれば、在留資格「介護」に変更して永続的に就労可能です。

メリット	・ 民間の人材紹介会社などを通して採用活動ができる ・ 新設の事業所でも外国人介護人材を雇用できる ・ 人員配置基準にすぐに参入できる(人材不足の解消・軽減) ・ 若い人材を雇用できる ・ 仕事に前向きで真面目な人材が多い ・ 吸収・上達が早い ・ 施設全体の雰囲気良くなる ・ 入居様、職員にも気に入られる傾向が多い ・ 外国人の受入に合わせて業務整理をしたり、必要に応じて見直すことで合理化や効率化を図るきっかけになる ・ 職員の意識改善やコーチング力の習得につながる
デメリット	・ 海外からの受入には通常5～6ヶ月必要となるため、計画的な採用が必要 ・ 初期の段階でコストがかかる(現地教育費用、入管申請費用、航空券他) ・ 寮費などの負担などから日本人よりも待遇が良くなることもある ・ 転職可能なため、転職リスクがある ・ 日本と異なる文化の違いや宗教などを理解する必要がある ・ 日本語に慣れるまで時間がかかる(特に発音、聴き取り) ※利用者様とのコミュニケーション、申し送り、記録などの読み書きは時間をかけてコミュニケーションを取ることが大切 日本人職員が意識して平易な言葉を使いゆっくりと話そうにしたり困っている時にはすぐに声掛けするなど継続的なサポートが大切 ・ 教育に時間を割く必要がある ※日本語レベルの上達や介護福祉士までのキャリアアップを目指して計画的な教育が必要

国籍・地域別特定技能在留外国人の推移

少子高齢化の進展と共に日本人就業人口の減少を受けて2019年4月より特定技能制度が開始し、2025(令和6)年12月31日には283,634人となり2028年3月までに820,000人まで受入を進めていく予定となっております。

国籍・地域別特定技能在留外国人数の推移



国籍・地域別特定技能在留外国人増加数



(注) 構成比は小数点第二位で四捨五入。

出入国在留管理庁統計データ抜粋

特定技能数(全国・静岡県)

2023年12月31日時点での静岡県内で就労する特定技能介護人材は658人です。国籍別に見るとベトナム、インドネシア、フィリピン、ミャンマーが大半を占めています。モンゴルは人数自体は少ないですが、全国の全職種数が1,118人に対して介護の割合は442人(40%)を占めており、静岡県では75%と介護に対する関心は非常に高いと言われています。

特定技能外国人	全職種	介護分野
実績)2024年12月31日	283,634人	44,367人
目標)2028年03月31日	820,000人	135,000人

全国・静岡県 特定技能全職種・介護数(2024年12月31日時点)

	全職種	介護分野		全職種	介護分野
日 本 全 国	283,634	44,367	湖 西 市	299	24
静 岡 県 全 域	8,595	1,068	伊 豆 市	63	20
静 岡 市	1,243	374	御 前 崎 市	83	2
浜 松 市	1,443	109	菊 川 市	117	17
沼 津 市	164	45	伊 豆 の 国 市	74	8
熱 海 市	121	20	牧 之 原 市	224	6
三 島 市	409	12	東 伊 豆 町	50	4
富 士 宮 市	80	24	松 崎 町	8	5
伊 東 市	318	33	西 伊 豆 町	1	22
島 田 市	498	39	函 南 町	6	5
富 士 市	328	55	清 水 町	6	21
磐 田 市	581	28	長 泉 町	29	8
焼 津 市	375	22	小 山 町	53	4
掛 川 市	188	32	吉 田 町	72	2
藤 枝 市	300	26	森 町	120	24
御 殿 場 市	347	74			
袋 井 市	27	11			
下 田 市	109	6			
裾 野 市	164	10			

全国・静岡県 特定技能国籍別(2024年12月31日時点)

国 籍 別	全 国		静 岡 県	
	全職種	介護分野	全職種	介護分野
総数	283,634	44,367	8,595	1,068
ベトナム	132,920	8,910	4,157	155
インドネシア	53,496	12,242	1,661	234
フィリピン	28,180	4,538	732	156
中国	17,645	1,103	556	17
ミャンマー	27,337	11,717	808	383
カンボジア	5,999	320	150	17
ネパール	7,003	3,602	164	63
タイ	5,563	334	266	5
モンゴル	1,118	442	28	21
その他	4,373	1,159	73	17

「特定技能1号介護」モンゴル人材活用

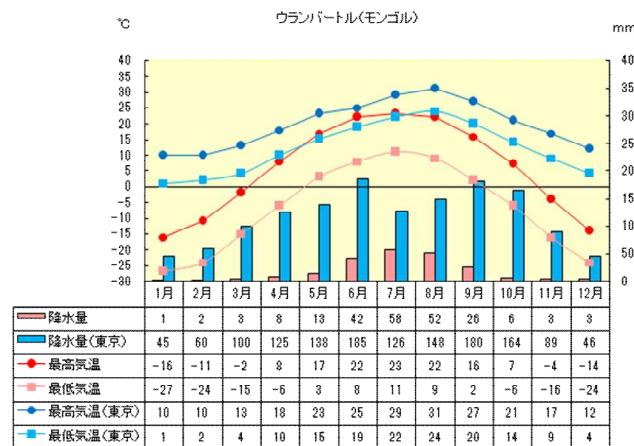


モンゴル国の特性



チンギス・カン

1800年間続いた多くの騎馬遊牧民族による戦争を終結させ、騎馬遊牧諸民族を統一し、モンゴル帝国を建国



【名称】モンゴル国
 【面積】156万4,100平方キロメートル(日本の約4倍)
 【人口】323万8,479人
 【首都】ウランバートル(Ulaanbaatar)
 【民族】モンゴル人(全体の95%)及びカザフ人等
 【言語】モンゴル語(国家公用語), カザフ語
 【宗教】チベット仏教等
 【時差】日本よりマイナス1時間(ウランバートル)

モンゴルでは国土の約80%が草原の壮大な「草原の国」です。北部は高い山が連なっており、比較的雨量が多いため、タイガと呼ばれる針葉樹林帯があります。また、南部にはゴビと呼ばれる砂漠地帯が広がっています。

ユーラシア大陸に位置する内陸国で、ロシア、中国と接しています。モンゴル人は遊牧民族として有名ですが、牧畜を離れ都市や農村に定住する人々も増えてきています。

1990年代初頭に社会主義体制から大統領制に移行し、鉱工業を中心に経済成長を遂げました。

2000年代に入ると鉱物資源の下落や自然災害による農牧業への打撃などを背景に成長率が鈍化し、貧富の格差が広がり、職を求めて地方から首都ウランバートルへの人口流入が始まりました。(人口の3分の2が首都ウランバートルに集中)(平均月収は約5万円~10万円)

2023年以降、ウランバートル市内のインフレーションが急騰しており、輸入品類については日本とほとんど変わらないほどの高価格になっていることから、生活が厳しい世帯も増加していると言われています。

モンゴル人の介護人材の特徴

■モンゴルの人々の生活

○1990年代に社会主義体制から大統領制に移行したことで、経済の自由化と市場経済への移行が進み、遊牧民として牧畜を行いながら、国内を転々とする暮らしから、首都ウランバートルや地方都市に移住が進んでいます。
そのため、ウランバートル中心部から市街地は高層ビルや商業施設が建ち並び、現在も多くのビルが建設中となっており、韓国を中心とする外資系企業の進出も活発です。
また、人々の移動の大半は日本車（プリウス）のため、交通渋滞が酷く、住宅不足と共に社会問題ともなっています。
ウランバートル市街地などの都市部では現代的なインフラは整備されており、快適な都市生活が可能で、多くの人たちはマンション、アパートに住み近代的な商業施設やサービスを利用しています。インターネットやスマートフォンも広く普及しており、デジタル化が進んでいます。

○一方で北部エリアのゲル地区や遊牧民は移動式ゲル（モンゴルの伝統的な住居）やインフラの行き届かない木造の小屋で住んでおり、都市部とは対照的な生活をしています。またゲル地区では長い冬の生活で石炭で暖房を行うことから、大気汚染の原因となっています。

○都市部では少子化が進んでいることに対して、子育ての補助金制度の拡充などの政策を行っていますが、ゲル地区の貧困層の子供たちが毎年増加しており、生活レベル、所得レベル、教育レベルでもウランバートル市街地とゲル地区、地方都市、遊牧生活者との間での考え方や水準はさらに大きく格差が広がっています。

○所得水準はコロナ以降、都市部のインフレーションの影響でホワイトカラーの給与は10万円以上に上昇しており、一般労働者であっても5万円以上あるのに対して、地方では2万円以下の所得となっています。

■教育制度

○モンゴル政府は教育に力を入れており、都市部だけではなく、地方においても教育機会が確保されており、識字率は97%以上と非常に高い。
○ウランバートルを中心に多くの大学や専門学校が設立されており、国際的な視野を持つ人材の育成を目指し、留学制度や外国語教育は強化しています。そのため、都市部では英語や外国語を習得して留学、国際的な企業での就職を目指すグローバルな視点を持つ若者たちが増えています。

■特徴

○日本人と非常に似た容姿をしています。
○遊牧民として各地を移動し、多くの民族と接する生活から歴史的にも多言語習得能力が高いと言われています。
また、モンゴル語は日本語の文法と同じ語順で、発音は日本よりもはるかに多いため、モンゴル人相撲取りもですが、日本語ネイティブ並みに上達する人が多いです。
○家族を大切にしており、特に年長者への敬意が強い。
○一般的にはマイペースな人が多く、あまり愛想を振りまくことは少なく、口数や表情は乏しいと言われがちだが、実際には親切で愛情深い。
○負けず嫌いでプライドが高く、向上心と向学心が旺盛。
○新しい環境、生活、仕事に早く慣れやすい特徴がある。
○家族と離れた生活であってもホームシックになりにくい。
○都市生活者は企業にて働く、商習慣や時間の使い方はかなりしっかりとしている反面で、社会人経験の少ない人では時間に対する意識は少しルーズな特徴もある。※日本は世界的に見ても「時間に対する意識が高い」とされるためほとんどアジア人を採用する場合には、適切なスケジュール管理や労務管理を通して時間意識に関して丁寧に指導していく必要があります。

モンゴル・パートナー会社

「**モンゴルアルタイインダストリー**」は静岡県への人材送出し実績を持つエージェントです。
当社では同社とは強い信頼関係を持っており、今回の事業パートナーとして全面的に協力いたします。

【創業者略歴】

1980年:モンゴル国立大学を卒業後、第1期国費留学生として来日。(国立信州大学繊維学部繊維機械学科)。

1990年～2002年:在日モンゴル大使館に赴任。貿易経済担当商務官、経済協力局長、貿易担当参事官として対日経済政策を担当。

2002年:モンゴル国財務経済省 経済協力政策局次長

2008年～2016年:ドルノゴビ県知事就任。静岡県知事との間で友好姉妹都市協定を締結し、数々の友好的な取り組みを行う。

・**モンゴル国大学院大学国際研究所所長**・地域研究所所長／モンゴル知事会会長／OISCAモンゴル会長／SOYOMBO(モンゴルプロボクシング・MMA協会)会長

・静岡大学グローバル地域センター客員教授

【同社静岡県での実績】

■2020年度 モンゴル看護師(モンゴル医科大学)静岡県内介護施設・学校等視察

■2021年度 モンゴル介護人材就労促進業務「オンラインキャリア・フォーラム」開催

■2023年度、2024年度 モンゴル人介護人材マッチング支援開催

■2019年度、2022年度、2023年度、2024年度 モンゴル高度人材の「キャリアフォーラム」開催

□所在地 : ウランバートル市

□創業者 : パンティー・ガンホヤグ

□運営責任者: バヤルツェツェグ・ガンホヤグ

□事業概要

- ・海外労働者派遣事業、日本語教室運営
- ・繊維製品製造、輸出
- ・薬局卸売サプライヤ
- ・クリニック経営 (耳鼻咽喉科)
- ・ゲル製造、輸出
- ・ゲルリゾートホテル、牧場運営
- ・植林、野菜栽培他

2010年11月 モンゴル国ドルノゴビ県・静岡県覚書締結



創業者: ガンホヤク氏
(元ドルノゴビ県知事)



運営責任者: ツェツェ氏

オンライン面接会について

日付	(日) 10:00～17:00					(月) 10:00～17:00					
日本	介護事業者10事業所（Aグループ）はそれぞれ個室に分かれたブースに配置したPC画面上でZOOMで面接を行う。 介護事業者は各ブースに固定し、各ブースには通訳者1名配置					介護事業者10事業所（Bグループ）はそれぞれ個室に分かれたブースに配置したPC画面上でZOOMで面接を行う。 介護事業者は各ブースに固定し、各ブースには通訳者1名配置					
モンゴル	ウランバートル会場（モンゴル国立大学院大学又は貸会議室等） Ⅰ.直接来場方式 日本からの介護事業者20社とモンゴル求職者40名を各Aグループ、Bグループに予めグループに分ける。 1日ごとに10社による20名全員を面接を行う。 Ⅱ.午前の部（日本時間10:30～13:00）10人実施 ※休憩 1 H 午後の部（日本時間14:00～16:30）10人実施 Ⅲ.面接時間は1人当たり20分程度で入れ替え制（隣のブースに移動）					介護事業者10社 Aグループ ↕ 求職者20人 Aグループ		介護事業者10社 Bグループ ↕ 求職者20人 Bグループ			
ブース1	ブース2	ブース3	ブース4	ブース5	ブース6	ブース7	ブース8	ブース9	ブース10		
介護事業者A	介護事業者B	介護事業者C	介護事業者D	介護事業者E	介護事業者F	介護事業者G	介護事業者H	介護事業者I	介護事業者J		
											

（1社ごとの面接が終了後に隣のブースに移動）※又はブレイクアウトルーム活用



オンライン面接会以降の個別面接会の実施

1	～11月下旬	事業者による希望候補者の選定 ・合同オンライン面接会を実施し、事業者による一次選考により、個別面談を希望する候補者決定 ・各事業者による重複候補者が出る為、複数候補者を選定してもらう ・参加候補者と事業者の希望をまとめたリストを作成し、静岡県庁に提出
2	11月下旬 ～12月中旬	個別面談会 （オンライン方式） ・当社と現地エージェントとの間で事業者ごとに個別面談会日程を決定 ・個別面談を実施 ※1社ごとに行う為、候補者との対話に十分な時間が確保できる ・個別面談会では通訳者を配置
3	12月中旬 ～1月中旬	内定者確定 ・事業者ごとに採用希望者を確認 ・重複候補者を調整の上で最終的な内定者を決定 ・特定技能候補者に対し、誓約書の提出依頼

①日本語試験(N4又はJFT-Test)

②介護技能評価試験

③介護日本語評価試験

内定者は①②③の試験すべてに合格する必要があります。

すべての条件をクリアした内定者から速やかに書類申請手続きを行います。

特定技能⑦ モンゴル特定技能の枠組み

日本政府とモンゴル政府の二国間協定によって、モンゴル側の特定技能の送出しルールは独自に定められており、原則的に「**モンゴル労働・社会保障省労働・福祉サービス庁(GOLWS)**」が唯一の送出し機関となっていますが、政府では募集・教育を実際に行いません。

その為、東海道シグマのモンゴル国パートナー会社であるモンゴル・アルタイインダストリーが現地での募集、教育、出国までの手続きまでの支援を行います。

